



10月の市議会議員選挙では1072票のご支持をいただき、議員活動を再開させていただくことになりました。

2022年は市長選挙への挑戦と、自分の力不足の招いた厳しい結果。ご支持いただいた皆さんに多大なご迷惑をおかけしたこと。その状況を受けて、自分が再び市政に関わるべきではないという思いも持ちながら、多くの方の激励をいただき再起できたことなど、私にとって転機が多い年でした。市議選の公約「初心にたちかえって再起動」の言葉を胸に刻んで、4年間努めてまいります。

再起動のスイッチを押していただきましたので、キャッチコピーを「未来の加東をみなさまと共に創る」に刷新しました。加東市が今だけでなく未来にも元気な町であるように。未来の加東を、一方通行ではなく市民のみなさんと共に創っていききたい。という思いをこめています。また、多くの思いを形に…議会で言うだけでなく、具体化できるような議員活動を心掛けてまいります。

## 工業団地は整備されるのか？

加東市では平成29年に東条南山の工業団地が完売して以降、大規模な工場が建設しやすい土地がありません。企業誘致どころか、企業などから相談があっても対応できないのが現状です。このため、令和4年度までに工業団地整備の基本計画を取りまとめることとしていましたが、コロナ禍による経済の影響などもあり、新しい総合計画では**令和9年度までに工業団地の整備計画をとりまとめる**、という内容になっています。

藤尾の質問	市の答弁
令和4年度に策定予定だった計画が、令和9年度に先送りされただけではないのか？	令和9年度に策定するのは、より具体的な「整備計画」である。財政面などからも、小中一貫校の整備がすんだ後に事業化することを検討しており、遅れているという認識はない。
開発が困難な農振農用地を対象としているから遅れているので、他の候補地を検討すべきでは？	他の候補地は造成・インフラ整備などに多大な費用がかかったり、立地の面などで完成した後の売却で苦勞をする可能性がある。まずは現在の計画を進めていきたい。

今後市の計画の進捗を見守ると同時に、工業団地整備までの間どのように事業用の土地を確保していくのか、今後とも議会で取り上げていきます。「(加西インター周辺は元農振農用地だったのに工場が立地している)」とご意見をいただくこともありますが、国・県と協議の上除外した農地と同程度の面積の農地を確保する手法で整備しています。加東市で同様の手法を取るべきかどうかも含め、今後の検討が必要だと考えます。

## 中心市街地(Bio南側)をどう活性化するか

加東市では、やしろショッピングパークBio周辺を新しい中心市街地として整備予定です。

10月にバスターミナルやにぎわい交流施設halKがオープンし、「中心市街地活性化」をこの先どのような手法で進めていくのかが今後の課題になります。

藤尾の質問	市の答弁
バスターミナル東西に隣接した区域を「近隣利便地区」として商業施設等が立地できるよう指定したが、今後どのように整備を進めるのか。	民間活力による開発に委ねたい。行政としては、民間事業者への働きかけや、インフラ整備などを行っていききたい。
インフラ整備とは国道372号とのアクセス道路の整備をさすのか？	それも含まれる。
道路を挟み南側は農振農用地区域だが、今後の開発の見通しは？	推進構想を策定中であり、令和5年度の中ごろには示したい。
中心市街地を目指すならば、社・滝野地域を中心に重複している施設をバスターミナル近辺に集約・複合施設化していくことも検討すべきでは？そのために(補助金なども期待できる)立地適正化計画などを活用する考えは？	公共施設の立地が可能なシビックゾーンの設定は有効だと考えるが、財政計画との整合性もあり、立地適正化計画を活用した集約は考えていない。

令和5年度中ごろに示される推進構想が、中心市街地活性化の重要なポイントになると思います。市から示されれば、また改めてご紹介していきます。

私個人の考えですが、中心市街地活性化は

- ①訪れやすいような公共交通の整備
- ②商業や公共施設などの都市機能の充実
- ③滝野社インターなど、市外からのアクセスしやすさ
- ④まちの顔となる空間としてデザインされているか  
(歩きやすい、にぎわいを感じられる空間)



などがポイントになると思います。

④の歩行者の感覚というのは見落としやすいですが重要で、「加東市は車社会だ」と言いつつも「町のにぎわい」は歩いている人を見て判断することが多いのではないかと考えるからです。

①の公共交通については、市としても「[東条地域の路線バス再編](#)」「[東条学園のスクールバス活用](#)」「[デマンドタクシー導入の実証実験\(全市域\)](#)」などに取り組む方針が示されており、今後議会の委員会で調査していきますので、次号の議会報告レポートで詳細をご報告します。

# 給食費の無償化

コロナ禍に対する生活支援の一環として、今年度3学期分の中学生までの給食費・もしくは給食費相当額を支援することとしました。大まかにまとめると↓の表のようになります。

1月1日現在、加東市立学校、市内の認定こども園または認可保育所に通園（3歳以上）している生徒児童（就学援助・副食費免除対象者を除く）	給食費を徴収しない。
それ以外の小中学校に通学している・就学援助の対象者、1月2日以降に転入された小中学生の保護者	10000円を支給（三か月分の給食費相当額）
それ以外の認定こども園等に通園されている方、通園されていない方、3歳未満の児童、副食費免除対象者、1月2日以降に転入された児童の保護者	15000円を支給（三か月分の給食費相当額）

国のコロナ禍に対応する交付金を活用しての実施であり、市の一般財源を使わずに(3か月間とは言え)給食費を無償化することなので基本的には良い施策だと思います。

が、今回市が実施する仕組みでは途中から転入された方は日数に関わらず(極端に言えば3月31日に転入され、期間中1日加東市に籍があっただけでも)一律10000円、15000円を支給することになります。給食費相当額の支援ということならば日割りにすべきです(給食費を徴収しない方は日割りになります)。このような不備を指摘されても事務が複雑になる等の理由で是正される姿勢が示されなかったため、不公平性が生じると考え 議案には反対しました。

## 給食費の無償化は継続できるのか？

12月議会の一般質問では、この給食費無償化を継続すべきとの質問が多く出ていました(県内でも相生市、加西市などで実施)。市長は「効果がある施策であると考え、実施したい思いはある」と前向きな見解を述べる一方「年間約2億5800万円もの財源が必要となり、今年度財源としたコロナ対策の交付金がなければ一般財源を使うということになる」と財源面などに課題があることを示されました(※令和3年度の一般財源の黒字は約6.4億円。不可能ではないですが、他の新規事業の展開が難しくなります)。仮にスタートすれば中途半端にやめたりすることは難しいと考えられますから、先行自治体の効果なども検証して慎重に考えていく必要があると思います。

## 給食費の無償化の前に・・・

私は「市内の認定こども園・認可保育所の3～5歳児童への主食提供の推進」をすべきだと思います。現在、市内の園では主食を提供している園としていない園がありますが(市立園は提供していない)、保護者の負担になっているケースもあると思いますし、児童のみなさんにもより温かい状態で提供したほうが喜ばれるように思います。

また、今回のように無償化すると主食分が無料になる・ならないの不公平が生じます。市立園での主食提供実施、私立園には各園の事情に応じた助成をしていくことを先行すべきだと思います。

# 市民病院の経営

コロナ禍による受診控えなどの影響もあり、市民病院等の経営が悪化しています。そのため、病院事業会計に赤字補てん等を目的に約2億2800万円を拠出しました(市民病院2億円、ケアホームかとう2400万円など)。

コロナ禍の中での医療関係者のご尽力には敬意を表しますし、コロナの影響もわかるのですが、それは加東市民病院だけでなく他の医療機関も同じはずです。「特に公立病院として果たしている明確な役割」の部分を除いて赤字補てんという手法を取るべきではないと考え反対しました。

市長は病院の経営努力の必要性は認めた上で「今回のコロナ禍は経営努力の外である」と繰り返し答弁されていました。しかし、民間ではその経営努力の外のところをやっているよう努められるのではないのでしょうか。

今後についても、「コロナの影響があるうちはしっかり支えていきたい」と言われていましたが、いつ収束するとも見通しが立たない中、現在の状況下で経営改善していくべきだと考えます。

●この原稿を書かせていただいている1月上旬の状況で兵庫県内で感染者数が1万人を超える日もあり、予断を許さない状況です。「最近のは重症化しない」というようなお話を聞くこともありますが、不幸にしてお亡くなりになる方も少なからずおられます。予防が万能ではありませんが、できることは心がけていきたいと思います。ところで、現時点では

## コロナワクチンの接種期限は3月末まで

となっています。接種を希望される方は接種漏れのないようお早めをお願いします。

## 私事ですが・・・

昨年末に結婚しました。芸能人でもないのわざわざ公表することでもないのですが、長きにわたりご心配いただいた方もおられますので、この場を借りてご報告いたします。と言ってもベトナム在住のベトナム人(日本在住経験があり、日本語は話せます)なので、まだ同居している訳ではないのですが、ご心配いただいた皆様ありがとうございました。

## 加東市議会議員 藤尾潔

〒673-1465 加東市喜田1丁目1-13 ディアレスト喜田102号

電話 0795-42-5155

ホームページ <http://www.fujikiyo.net>

Eメール [kiyoshi@fujikiyo.net](mailto:kiyoshi@fujikiyo.net)

